

研究者各位

理工学部長・理工学研究科委員長  
岡田 英史

2020年度 慶應義塾大学理工学部・理工学研究科  
「若手研究者国際シンポジウム・会議主宰支援制度」について（募集）

このことについて、下記により申請を受け付けます。

記

理工学部・理工学研究科では2011年度より、全く新しい研究領域・分野で斬新な発想力を持ち未来の科学技術分野・領域を開拓できる研究者や当該領域・分野においてリーダーとなれる研究者を支援し、将来の慶應義塾発の研究の創出、次の外部研究資金獲得へつなげることを目的とした制度である「未来の科学技術の育成制度 ～超・卵プログラム～」を運用して参りました。

2016年度より、この助成制度の趣旨をさらに発展させ、次世代の理工学の研究を担う若手研究者がその研究成果を国内外に向けて発信することを支援するための制度として、新たに若手研究者国際シンポジウム・会議主宰支援制度を開始いたしました。

なお、この制度は2020年度予算成立前に企画したものであるため、予算成立の内容および予算成立額に応じて、実施内容・額に変更が生じる場合があります。

1 申請資格

理工学部・理工学研究科に所属する専任教員のうち、2020年4月1日時点での年齢が満42歳以下の者

2 助成対象

次の2つの要件を満たすこと。

- (1) 申請者が主宰・開催する公開制の国際シンポジウム・会議で、「慶應義塾大学」と冠するもの（学会活動の一環として行うシンポジウムや学位論文の公聴会等は対象としない）。
- (2) 慶應義塾大学以外の国内外の研究者が参加し、国外の研究者をスピーカーとして招聘する国際シンポジウム・会議であること。

3 助成期間

助成対象期間は2020年度内の1年間とし、この期間に開催されるシンポジウム・会議を対象とします。

4 助成金額

研究者1人あたりの助成金額は300万円を上限とします。

5 申請方法

所定の申請用紙を用いて、2020年2月21日（金）17:00（必着）までに、理工学部学術研究支援課に申請してください。

6 助成金の執行

助成金の執行については、2020年4月より使用可能にする予定です。執行期限は用度課が指定する間接経費の執行期限までとします。また、助成金は「競争的資金の間接経費の執行に係る共通指針」（平成13年6月4日付13文科振第361号文部科学省研究振興局長通知「平成13年4月20日付競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ」）、慶應義塾間接経費申し合わせに準じて使用していただきます。

7 実績報告書について

採択者は国際シンポジウム・会議開催後、別途指定する実績報告書をご提出ください。

8 問い合わせ・申請書提出先

理工学部学術研究支援課（創想館3階309） 担当：深田 内線：40117 外線：045-566-1794

以上